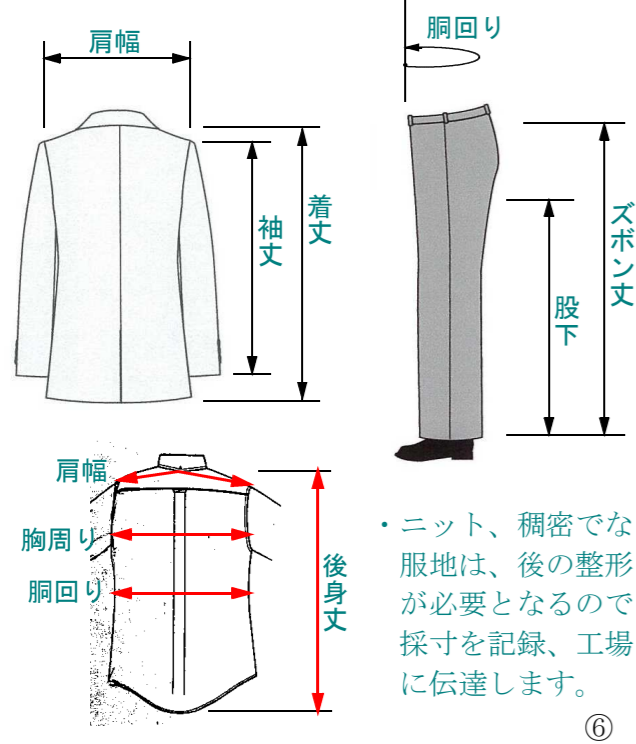


6. 採寸

婦人服、高級獣毛商品、ニットなどは、カルテ記入、または、採寸をします。



⑥

7. 簡単な洗浄方法の説明

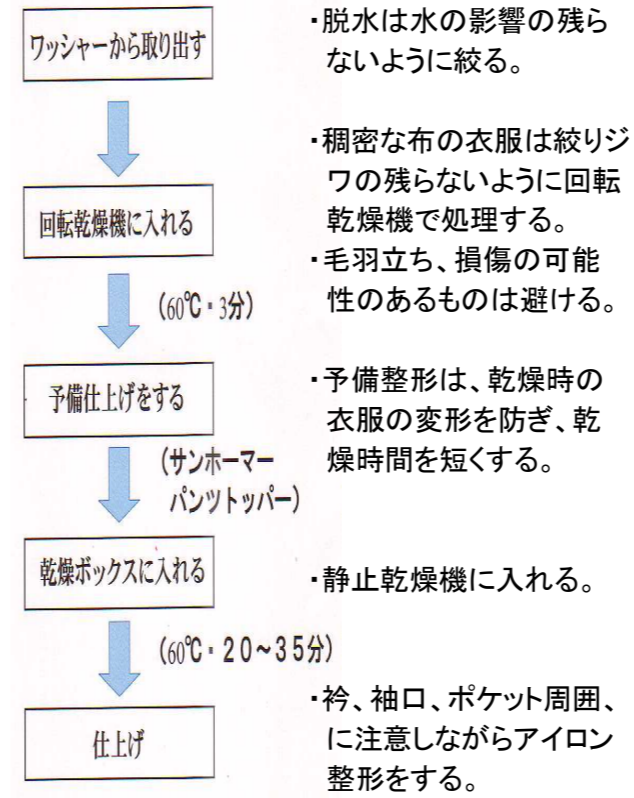
工場では、検品・工程選別・前処理を行ってから、洗浄工程に入ります。

- ①洗浄→防縮加工剤、洗剤を入れて、35℃とし、回転・停止を繰り返し（衣服へのダメージを少なくして）、5分間洗浄します。
- ②すすぎ→常温水で、回転・停止を繰り返し、3分間、2回すすぎます。
- ③加工処理→衣服への水による影響を最小限にするために加工剤を添加し、回転・停止を繰り返しを3分間行います。
- ④脱水→出来るだけ強く（衣服に水による影響を少なくするため）、しかし、衣服に絞りの跡が残らないように絞ります。

工程	時間	温度	回転・停止	回転数
洗浄	5分	35℃	3秒/20秒	30
すすぎ	3分	常温	3秒/20秒	30
すすぎ	3分	常温	3秒/20秒	30
加工	3分	常温	3秒/20秒	30
脱水	2分			

⑦

8. 洗浄後の工程



⑧

1. ウエットクリーニング チェックリスト (店舗編)

ウエットクリーニングに際してチェックしておきたい点を記したものです。事例は目安を表したものです。実務に際しては、工場と確認の上作業を行ってください。

ウエットクリーニング対比表

ウエット表示とMA値と家庭洗濯の相対比較表

ウエットの表示	MA値 (参考数値)	家庭洗濯相当表示
Ⓜ	45~70	40
Ⓜ	30~45	30
Ⓜ	30以下	20

オフィス毛利 編集 平成29年3月 ①

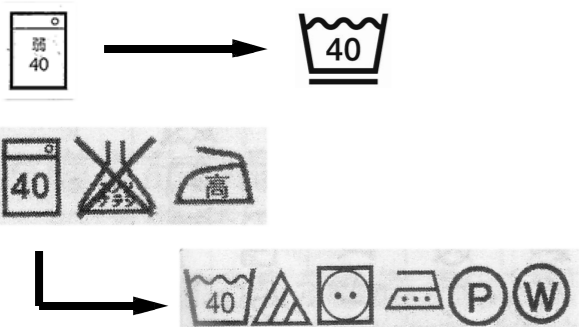
2. 表示の見方と注意

取扱絵表示は、平成28年12月より、新表示が付けられています。

新表示と従来の表示は、家庭洗濯のマークが異なることによって判断します。

- ・家庭洗濯のマークが異なります。
- ・丸印が商業クリーニングのマークです。
- ・Ⓜ Ⓜ はドライのマークです。
- ・Ⓜ Ⓜ Ⓜ はウエットのマークです。

従来の洗濯マーク → 新表示洗濯マーク



ドライのマークが付けられている時はドライを優先とします。

②

3. ウエットの表示

ウエットの表示と対象商品は、以下のように判断してください。新表示のウエットには厳密な洗浄方法が定められています。必ず、品質表示を見るようにしてください。

- Ⓜ ・ドライのマークが付いたものは、ドライを優先する。
- Ⓜ ・ドライクリーニング出来ないと表示され、ウエットのマークが付いたものは最も注意しなければならない。
- Ⓜ ・ウエットマーク → 従来のウエットと同様の処置と考えてよい。綿パンツ、綿混紡ジャンパー等。
- Ⓜ ・ウエットアンダーバー → デリケートな洗浄処理を行います。顔料製品、合成皮革、ビニールレザー等。
- Ⓜ ・ウエットダブルアンダーバー → 非常にデリケートな洗浄を行います。スパンコール、ビーズ、エンボス加工製品等。検品は特に注意が必要です。 ※洗浄方法は項目「7」を参照。

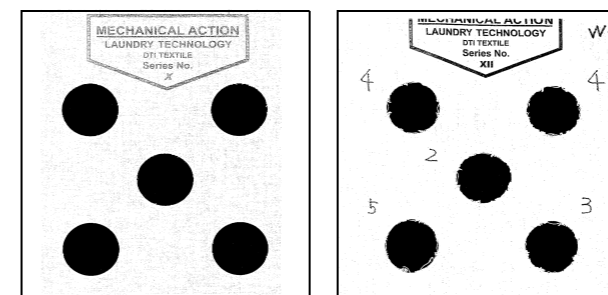
③

4. ウエットの機械力

ウエットの機械力を表す数値として、表紙にあるように「MA」という値を使います。MA値とはメカニカルアクションと言われ、規格された布にパンチングで5カ所に穴を開け、洗浄後にその周囲の糸のほつれの数を指します。

数字の小さいほどデリケートな洗い方ということになります。

ウエット・ダブルアンダーバーでは、MA値30以下での処置を求められています。



MA測定原布 MA値=0
ウエット・洗浄後の布 MA値=18
※家庭洗濯との比較が表の右に示してあります。

④

5. 商品チェック

ウエット表示がありドライ出来ないとされた商品の多くは、何らかの特殊な加工を施されています。

これらは着用・洗浄により損傷の恐れのあるものも多く、従来の商品の検品以上のチェックが必要となります。

- ・ブランド商品、高額商品を扱うに際しては商品カルテを利用してください。
- ・それ以外でも、工場で見落としの出ないような伝達（特殊なタグを付ける）を忘れないでください。
- ・エンボス加工、顔料プリント、合皮等は、着用中の摩耗、化粧品の使用などにより部分剥離、擦れによる退色が起きている可能性があります。
- ・スパンコール、ビーズ等の商品は、着用中に破損、一部脱落が起きている可能性があります。特に、脇の下、裾には注意してください。 ※ケアによる処置を確立しておかないと、お客様に迷惑をおかけすることになります。

⑤